

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立小平高等学校

教科	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学Ⅱ	4	2	必修

教科書	補助教材・教具等
高等学校数学Ⅱ（数研出版）	4 プロセス数学Ⅱ（数研出版） はぎとり式練習ドリル数学Ⅱ【標準編】（数研出版）

科目担当者	藤本・會田・田中・牧戸
-------	-------------

期間	授業計画	予定時数	具体的な指導目標
1 学 期	中間検査まで 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	20	整式の四則計算について理解するとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して高次方程式を解けるようにする。
	期末検査まで 第2節 高次方程式 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	24	座標や式を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関
2 学 期	中間検査まで 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	28	角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
	期末検査まで 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	24	指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
3 学 期	学年末検査まで 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	30	微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。

評価の観点・方法
宿題の提出状況、目標達成を確認する小テスト、定期検査の成績を総合的に判断する。